

gakuto

学塔



2009.Spring

No.123



自著を語る「**タッピング・タッチ:こころ・体・地球のための
ホリスティックケア**」

これだけは読んでおきたい
各学部の先生からのオススメ本

From Students
学生さんが発見!オススメ図書

ブックロウのPick Upコーナー!!
**三重大OPACリニューアル
Webサービスリニューアル
論文に挑戦!
パソコンコーナーリニューアル**

News!
**図書館ツアー
図書館開館時間延長**

特集 **知識戦隊
トシヨレンジャー!**

自著を語る。



『タッピング・タッチ：
こころ・体・地球のための
ホリスティック・ケア』

〈朱鷺書房 2004〉
【所在】 図・展示棚
【請求記号】 492.79/N32

中川 一郎 先生
国際交流センター

新しい技法や考えを提案するとき、どんなことに気をつければよいのでしょうか。それを効果的に広めるための方法は？
「タッピング・タッチ」という一つのケア技法を確立された、中川一郎先生にコツを伺いました。ホリスティックな視野を持つことの重要性は、必見です！

■子供から専門家まで、だれでも使える
ケア技法

「図書『タッピング・タッチ：こころ・体・地球のためのホリスティック・ケア』の紹介をお願いします。
タッピング・タッチという一つのケアの技法の基本と応用、リサーチを記した図書です。タッピング・タッチはシンプルで、子供から専門家までだれでもできる技法として、私が中心となって開発しました。体を左右交互に軽くタッチすることで、不安や緊張の緩和といった効果があります。信頼感を深めたり、関係性を改善したりする効果もありますから、対人援助やケアにとっても有効で、様々な分野での利用が広がっています。」

■高度な技術やトレーニングは不要！
役立つものを、多くの人が利用できることを目指して

「一つの技法を提案する過程では、さまざまな工夫が必要になると思います。先生はタッピング・タッチをどんなプロセスで考案したのか、教えてください。
研究にしても世の中のことにしても、役立つものはたくさん開発されてきましたが、それがうまく一般のために生かされないことが多いです。タッピング・タッチの考案では、人に役立つことを、もっとたくさんの方が利用できるようにすることを目指しました。いろんな意味で人間が進化して学んできたことが、金持ちや特別な人しか使えないなど、利用するための壁ができていた場合もあります。もともと人がお互いをケアしあう、自分たちの力で元気になるということが必要だと思えます。この技法は、様々な治療的要素を統合して開発したものです。東洋の経穴(つぼ)や経絡(けいらく)といったことも応用していますが、強く押しつたりせずに心地よいポイントを軽く叩くので、どこを叩かなければいけないという決まりはありません。高度な技術やトレーニングは必要ではなく、気軽にできます。はじめは人為的に作られたものが、いろいろな人の手を経ることによってとても自然な形になりました。今の形は日

本人にとって肩たたきに似ていたり、子供をあやすことに似ているので、違和感がなく体験できると思います。
「コミュニケーションが難しい今だからこそ開発した技法を理解してもらおう」とは、簡単なことではないと思います。タッピング・タッチが日本人に受け入れられた理由を教えてください。
今いろんな面でコミュニケーションが難しくなっています。しかし、タッピング・タッチは安全に人とふれあいが持て、お互いを大切にすることができると、受け入れられました。面と向かってしないことも利点となっていて、日本人にも受け入れやすかったのではないのでしょうか。」

■火種になってそこから広がる

「自分の考えを広めるときは、大変さの中にも楽しさがあると思います。タッピング・タッチを広めていくための活動で楽しかったエピソードを教えてください。
楽しさはたくさんあります。幼稚園や保育園でタッピング・タッチのことを子供に教える機会があります。動作に「猫の足ふみ」「象の鼻」といった名前がついているので、子供たちにも好評です。タッピング・タッチの心地よさを感じて、家に帰ってから両親にしてあげることもよくあるようです。講座やセミナーなどで体験したときだけでなく、それが火種になってそこから広がって役立つしていくことが楽しみです。今の時代はいろいろと厳しいことが多いですが、希望ややりがいを感じています。」

■部分的に見てわからないことを、全体的に見ていく

「副題に『ホリスティック・ケア』とあります。学習や研究を進めていく時に、ホリスティック(全体的、統合的)な考え方は大切ですか？
私が担当している授業の二つに「地球環境と災害支援」があります。この授業においてもホリスティックという

貴重なお話ありがとうございました。



■自分の考えを持ち、表現してほしい
最後に、三重大学生へのアドバイスをお願いします。

自分の才能をしっかり伸ばしながら、自分の社会的な役割とか可能性をよく見ていって欲しいです。日本の教育は自分で考えて語り合って表現することが限られています。高校までの教育では、発表するとかディスカッションすることが少ないと思います。大学では、人として自分の考えを持ち、語り合い、どんどん表現していくて欲しいです。」

これだけは読んでおきたい!!各 学部の先生からのオススメ本

READING LIST

共通教育 中田康行先生

モーム 著・中野好夫訳
『人間の絆』
新潮社
【所在】 図・開架PB
【請求記号】 933/Ma 95/1-4

英国の作家モームの代表作『人間の絆』は若い頃の内面を書いた自伝的小説で、最長編である(1915年刊)。主人公フィリップは幼少期に両親を失い、叔父に引き取られ、身体的欠陥故に種々の劣等感を体験するが、立派な大人に成長する。青年期に叶わぬ女性関係に悩むが、やがて人生にはたいした意味はなく、自由に人生の絵模様を描けばよいと認識する。結局、サリーという平凡で健康な、天真爛漫な女性と結婚し幸福になる。人間とは何か、いかに生きるべきかを問う作品である。一読を勧めたい。

生物資源学部 伊藤進一郎先生

濱谷稔夫 著
『樹木学』
地球社
【所在】 図・開架・図書/生・森林生物循環学
【請求記号】 652.7/H 26

1950年代に出版された『樹木学』以来の、樹木学を本格的に学ぶための教科書である。この書籍は、「基礎編」と「樹芸編」に分かれており、樹木に関する基礎から応用まで幅広く記述されている。樹木学だけでなく、植物学に関する最近までの参考文献が多数整理されており、また索引も充実している。樹木学や植物学を学ぶ研究者や技術者だけでなく、「樹木学」を基礎から学びたい学生諸君にとっては、是非手に置きたい書籍である。

工学部 北川敏一先生

福岡伸一 著
『生物と無生物のあいだ』
講談社
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 460.4/F 82

分子生物学の研究者である著者が、ウイルスの存在、DNAの分子構造と複製機構、生命体を作る原子・分子の動的平衡、細胞内外への物質の移動のしくみなど、生物学上の重要な発見・解明の物語を通して、生命の神秘を分かりやすく論じたものである。「生命とは何か?」という問いかけに対する答えを追求するだけでなく、過去の研究者達がそれにまつわり展開したドラマが平易な文章で描かれており、高度な内容でありながら専門外の読者にも面白く読める1冊である。

医学部 太城康良先生

竹内修二 著
『からだ解剖学：
まるごとわかる自分のからだ』
池田書店
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 491.1/Ta 67

解剖学は入門者にとって、用語の多さと構造をイメージすることの困難さから、敬遠されがちな学問である。しかし、本書は人体の構造について約80の項目を身近なトピックに関連付けて易しく解説している。構成も一項目が本文とイラストの見開き2ページで完結し、どのページからでも、小間切りの時間でも読みやすい。専門用語には読み仮名も振ってある。一寸した雑学を増やしつつ、人の体に興味ある方に学部を問わずお勧めする。

教育学部 林朝子先生

白井恭弘著
『外国語学習の科学：
第二言語習得論とは何か』
岩波書店
【所在】 図・開架・PB/人・仏語仏文学/教・国語教育
【請求記号】 807/Sh 81

「英語を中学高校大学と勉強しているのに、どうして話せないのだろうか?」と感じている人は多いと思う。外国語学習が成功しないのは何故か。本書にはその疑問に対する答えが分かりやすい表現でまとめられている。学習を左右するのはやる気?日本語は邪魔なだけ!?外国語学習の成功への秘訣を知り、英語以外にも様々な外国語を効率的に身につけ、ぜひ異文化間での楽しい意思疎通へとつなげてほしい。勿論、外国語学習だけでなく、言語教育全般に関心のある人にもお勧めである。

人文学部 濱森太郎先生

アーサー・クラインマン著
江口重幸、五木田紳、上野豪志訳
『病いの語り：
慢性の病いをめぐる臨床人類学』
誠信書房
【所在】 図・開架・図書/病・看護部
【請求記号】 493.1/K1 4

微小民族の観察・報告から研究生活を始める人類学者は多いに違いない。だが、その微小民族の集落の中で「病む人」を対象とし、医療人類学というパラダイムを立ち上げる思いつきはクラインマンの頭の中しかなかった。クラインマンが初めにした事は、患者の病の経験とその経験に関する「語り」を集積し、復元することだった。次にした事は、その「語り」がどのようなプロセスを経て医療的な説明モデルに編成されていくかを記述することだった。そうすることで、本来、多義的、多声的な患者の経験を損なうことなく復元する事ができるからである。それらの声の復元が進む事で、病む者の立場から見たケアという新しい医療のパラダイムを提案する事ができるのである。

特集

情報発信基地ミエダイトシヨカン。そこに集うトシヨシジャーたちは数々のミッションを果たすため、日々の訓練を惜しまない。すべては三重大学の充実した学生生活のために!

Mission4 : お疲れの学生さんをリフレッシュ!



『フィッシュストーリー』
伊坂幸太郎 著
／新潮社 2007



『阪急電車』
有川 浩 著
／幻冬舎 2008



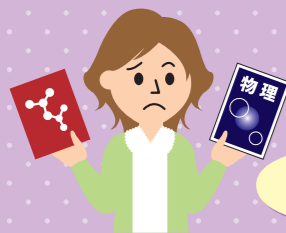
『クローズド・ノート』
梶井橋介 著
／角川書店 2006



『近鉄特急 伊勢志摩ライナーの畏: 長編推理小説』
西村京太郎 著／祥伝社 2008



『手紙』
東野圭吾 著
／文藝春秋 2006



大学図書館にあるのは難しい本ばかり!?

そんなことはありません。一息つける、リフレッシュできる、そんな本もたくさんあります。

清らかホワイト



Mission1 : 学習・授業をサポート



『レポート・論文の書き方入門』
河野哲也 著／慶應義塾大学出版会 2002



『TOEIC®テスト 新公式問題集 vol.3』
Educational Testing Service 著／国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC®運営委員会 2008



『ゼロからスタートフランス語: だれにでもわかる文法と発音の基本ルール』
アテネ・フランス責任編集: 島崎貴則 著
／Jリサーチ出版 2008

『ニューエクスプレスドイツ語』
太田達也 著／白水社 2007



『大学生学びのハンドブック: 勉強法がよくわかる!』
世界思想社編集部 編
／世界思想社 2008



大学の勉強って、高校までと違うらしいけど...



『法則探検に出かけよう』
法則研究プラザ 編
／三重大学出版会 2007

これまでの受け身の勉強法とは異なり、大学では自分で問題を設定し、調べ、答えを出していかなければなりません。図書館には入門書から専門書までたくさんの資料がそろっています。学習のヒントにしてくださいね。

情熱のレッド



Mission5 : 就職活動にエール



『働く理由:99の名言に学ぶシゴト論』
戸田智弘 著
／ディスカヴァー・トゥエンティワン 2007



『国家1種・教養試験過去問500』
資格試験研究会 編／実務教育出版 2008



『「面接力」をつける』
渋谷昌三 著／新講社 2007



『自分の説明書の作り方2010』
東田晋三 著
／近代科学社 2008



就職活動どうしよう...

就職活動の情報収集も図書館で! 図書や雑誌だけではなく、日経テレコン21などのデータベースもご活用ください。

可憐なピンク



Mission6 : 暮らしをサポート



『ほっかほか自炊ごはん: あったか食生活応援本』
YYT Project 編
／池田書店 2007



『がんばれ自炊くん!』
ほぼ日刊イトイ新聞 編
／角川書店 2001



『わが家を守る! 防犯・防災徹底ガイド』
NHK出版 編
／日本放送出版協会 2008



『わたしのひとり暮らし手帖: 安心・快適・健康な毎日にする52のコツ』
岸本葉子 著／文藝春秋 2007



大学生の生活って...!? 一人暮らしを始めたんだけど。

一人暮らしに役立つ本や料理の本もありますよ。

爽やかブルー



Mission2 : サークル活動への情報提供



『大学生のためのボランティア活動ハンドブック』
藤田久美 編著
／ぶくろう出版 2008



『もっと上達する! テニス』
堀内昌一 著
／ナツメ社 2006



『やさしいアメリカンフットボール入門』
後藤完夫 著／タッチダウン 2007

『国際交流はじめての茶道: 英語・中国語対訳』
吉野亜湖 著／知泉書館 2007



サークルや趣味に役立つ本もたくさん! ぜひ探してみてくださいね。

癒しのグリーン



Mission3 : 図書館をもっと使いこなしてもらおう

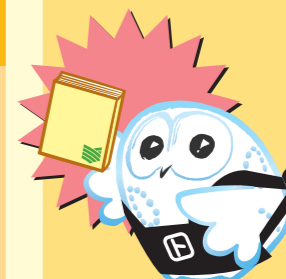


詳しくはこちら

<http://www.lib.mie-u.ac.jp/iln/iln.html>

笑顔のイエロー

レポートに必要な資料を何でどうやって探したらいいかわからない。参考文献に載ってる文献の探し方がイマイチわからない。そんなあなたに図書館員がアドバイスします!!



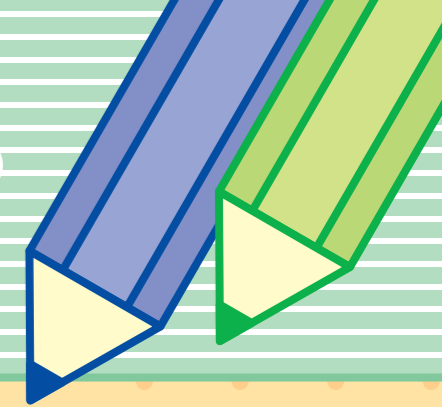
闇夜の主ブラック



ブックロウの Pick Upコーナー!!

図書館のホームページ
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>
から Check it out !!

From Students 三重大学図書館



三重大OPAC

リニューアル



2009年2月27日より、三重大学蔵書検索システム「三重大OPAC」がリニューアルしました。新しい機能も搭載されました。ご活用ください。

<http://opac.lib.mie-u.ac.jp/opc/>

WEBサービス

リニューアル



WEBサービス機能も増えてリニューアルしました。利用についてのお問い合わせはカウンターへお尋ねください。

WEBサービス機能

- 貸出・予約状況照会
- ILL(文献複写・貸借)依頼
- 学生希望図書購入リクエスト

<http://opac.lib.mie-u.ac.jp/opc/>

論文に挑戦!



『三重大Moodleの構築と運用』
奥村 晴彦先生

論文というと難しそうに思われるだろうが、これは軽く読める。皆さんも使っているMoodle(ムードル)とはどういうものか、だれが作ったのか、三重大Moodleはいつどうしてできたか、どれくらいの利用者がいるのか、サーバはどこにあるのか。そんなことを疑問に思ったら、ぜひこれを読んでいただきたい。MIUSEで「Moodle」と打ち込んで検索すればすぐに見つかる。わからないところは遠慮せず著者に聞こう。



MIUSEで論文の本文を読むことができます

三重大Moodleの構築と運用



MIUSE:
<http://miuse.mie-u.ac.jp/>

パソコンコーナー

リニューアル



図書館1階、2階のパソコンコーナーがリニューアルしました。総合情報処理センターのパソコンと同様にお使いいただけます。パソコンのご利用には総合情報処理センター発行の統一アカウントが必要です。

学生さんが発見!

図書館オススメの図書



『三国志：完訳』
羅貫中 著・小川環樹、金田純一郎 訳
岩波書店/1988 【請求記号】923/R 11/1

私は、歴史小説が好きなのですが、中でも一番好きなのが、この三国志です。主に、魏・呉・蜀の三国間の争いを描いた作品で、国家間の激しい戦略のぶつかり合い、様々な武将の武勇や知恵が見られます。作者の違いによって少し異なる角度から描かれているため、他の出版のものを読めば、二度楽しむことができます。

医学部医学科
糸魚川 英之



『頭のうちどころが悪かった熊の話』
安東みきえ 作
理論社/2007 【請求記号】913.6/A 47

タイトルを見て思わず手に取ってしまった一冊。頭のうちどころが悪かった熊や、家出してしまうおたまじゃくし、そんな動物たちを主人公にした7つの寓話が収録されています。子供向けに書かれていますが、共感したり、考えさせられたり、大人でも十分楽しめるお話ばかり。さらっと読めるので、気分転換したいときにオススメです。

人文学部文化学科
長谷川 ひろみ



『もえない』
森博嗣 著
角川書店/2007 【請求記号】913.6/Mo 45

森博嗣の作品には珍しい、高校生が主人公のミステリー小説。彼の作品は難しい印象がありますが、これは小難しいうちくがほとんどなくて読みやすく、ミステリー入門にオススメです。主人公の記憶が徐々に細解けていくシーンでは、単純にハラハラさせられます。そして、やっぱり騙された...さすが森博嗣!!

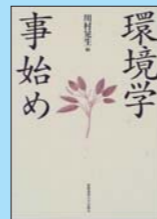
医学部看護学科
青木 美音



『人間の境界はどこにあるのだろう?』
フェリペ・フェルナンデス=アルメスト 著
長谷川眞理子 訳
岩波書店/2008 【請求記号】114/F 21

科学は、私たち人間とは何かという答えを求め、発展してきました。しかし、その進歩が人間と他の動物との境界を曖昧にし、人間だけが特別なものを持っているというのは神話にすぎませんでした。著者は、人間であり続けたならば、その神話を捨てるよりは神話を生かすことを始めた方がよいといっています。科学の限界を、それを私たちはどう受け止めるのか考える1冊です。

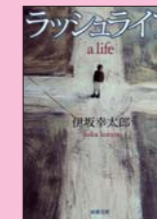
生物資源学部共生環境学科
安藤 雄太



『環境学事始め』
川村晃生 編
慶應義塾大学出版会/1999 【請求記号】519.5/Ka 56

この本は生物学、物理学、法律・経済学、倫理学、文学などさまざまな分野から環境学を、大学生向きに書かれているので、わかりやすく学ぶことができます。環境の知識をこれから身につけたい人や、自分の専門分野以外の視点から環境を学びたい人には特にオススメしたい本です。ぜひ読んで自分がすべき環境活動を考えてみてください。今どき環境の知識がないと恥ずかしいですよ!(笑)

人文学部法律経済学科
土本 健太



『ラッシュライフ』
伊坂幸太郎 著
新潮社/2005 【請求記号】913.6/I 68

泥棒を生業とする男は新たなカモを物色する。父に自殺された青年は神に憧れる。女性カウンセラーは不倫相手との再婚を企む。職を失い家族に見捨てられた男は野良犬を拾う。幕間には歩くバラバラの死体登場。並走して語られる4つの話だが、様々な部分が原因と結果でつながっている。巧緻なだまし絵のようで、再度読み直したくなる一冊です。

生物資源学部生物圏生命学専攻
深井 千晶



News!

図書館ツアー実施します!

2009年4月9日(木)~15日(水)の平日

12:15~12:45

★図書館の各スペースやサービスの紹介

- 三重大図書館を初めて使う方はどなたでも大歓迎!
- 集合場所:図書館玄関ホール

5月にも、図書館ツアーを予定しています。詳細が決定したら、附属図書館HPに掲載します。

附属図書館HP <http://www.lib.mie-u.ac.jp/>



この機会に図書館を探検しよう!



予約不要!

図書館開館時間を延長します

図書館の閉館時間が、平日は21時45分、土・日・祝日は18時半になりました。ご利用をお待ちしています。

	平 時	春・夏・冬季休業期
月~金	8:45~21:45	8:45~17:00
土・日・祝日	9:00~18:30	休館

展示図書コーナー新着図書

(2008年7月~12月発行分)

- 松坂清俊 名誉教授(教) / 『知的障害の娘の母:パール・バック:ノーベル文学賞を越えて』 松坂清俊著 文芸社 2008.9
- 尾西康充 人文学部教授 / 『田村泰次郎の戦争文学:中国山西省での従軍体験から』 尾西康充著 笠間書院 2008.8
- 尾西康充 人文学部教授 / 『滋賀近代文学事典』 日本近代文学会関西支部滋賀近代文学事典編集委員会編 和泉書院 2008.11
- 岩本美砂子 人文学部教授 / 『中絶と避妊の政治学:戦後日本のリプロダクション政策』 ティアナ・ノーグレン著・塚原久美、日比野由利、猪瀬優理訳 青木書店 2008.8
- 鹿嶋洋 人文学部教授 / 『日本経済地理読本』 竹内淳彦編著 東洋経済新報社 2008.12
- 森正人 人文学部准教授 / 『大衆音楽史:ジャズ、ロックからヒップ・ホップまで』 森正人著 中央公論新社 2008.8
- 藤田達生 教育学部教授 / 『朽木家文書』 藤田達生、西島太郎校訂 八木書店 2007.7-2008.10
- 河崎道夫 教育学部教授 / 『あそびのちから:子どもとあそぶ保育者のしごと』 河崎道夫著 ひとなる書房 2008.7
- 郷右近歩 教育学部准教授 / 『特別支援教育におけるコーディネーターの役割:脳損傷事例を通して考える本人・保護者中心の連携支援体制』 郷右近歩著 ナカニシヤ出版 2008.11
- 社河内敏彦 工学部教授 / 『流体力学:基礎と応用』 社河内敏彦、辻本公一、前田太佳夫共著 養賢堂 2008.7
- 橋本博美 共通教育非常勤講師 / 『ふくろう女的美容室』 テス・ギャラガー著;橋本博美訳 新潮社 2008.7

編集後記

●表紙の写真:123号の表紙は、環境情報コーナーです。このコーナーは図書館2階にあり、公害や環境工学分野の図書が並べてあります。学生さんによる展示も見ることができますので、ぜひお越し下さい。

新1年生はもちろん2年生以上の諸君も4月という新たな学年次のスタート地点に立っているいろいろな目標をたてていることと思います。この号でも多くの図書が紹介されておりますが、図書館の図書を卒業までの〇年間で〇冊読破するという目標などどうでしょうか。かつて読書法が流行した時、杉浦明平氏は月1万ページ読むというような話もありましたが、図書館には単純に冊数だけいって一人の人間が一生かけても読み切れない図書があります。挑戦してみませんか。